

[長崎市理財部資産経営室からのお知らせです。]

# 公共施設の将来のあり方を考える市民対話《かわら版》

## ❀ 第1回 開催報告 ❀ 《高島エリア》



ご参加いただいた皆さま  
ありがとうございました。

日時 平成30年5月20日(日) 15:30~17:30  
場所 高島地域センター  
参加者 地域の皆さん 20人

自然に囲まれ歴史あふれる高島で、これからも安心して生活を続けていくために、高島エリアにある公共施設はこれからどうあったら良いのか、将来に向けた公共施設のあり方を皆さんと一緒に考えていきたいと思い、市民対話を開催しました。

### はじめに いま起きている“変化”と状況

長崎市から、人口減少社会の到来や、少子高齢化の進展など、「いま起きている“変化”と状況」についてお話ししました。

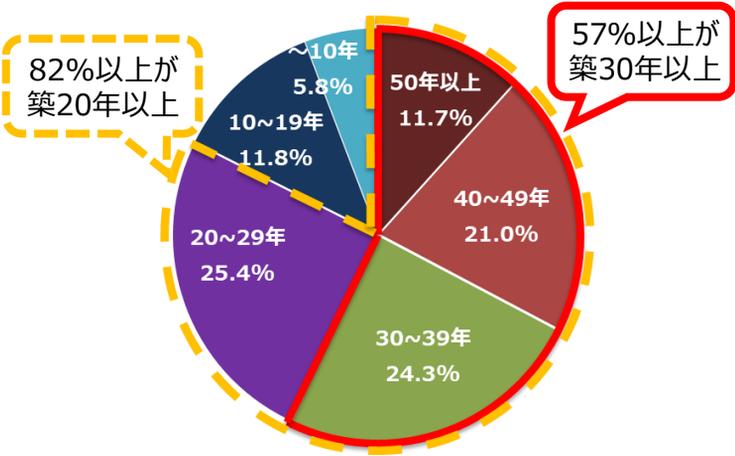
公共施設が古くなってきている

- 市の公共施設のうち、全体の半分以上が築30年以上が経過し、施設の老朽化が進んでいます。
- 今後、修理や建替えの時期が一斉にやってきます。

人口減少・少子高齢化が進んでいる

- 長崎市の人口は、今後30年間で約11.8万人の減少が予想され、施設の利用者も減少していくことが予想されます。
- 15~64歳のいわゆる「働く世代」の人口が大きく減少して**税金が減少することが予想**されます。
- 今後も高齢化が進み、**福祉や医療にあてる費用が増えることが予想**されます。
- このため、**公共施設の修理や建替えにあてる費用は限られてしまいます。**

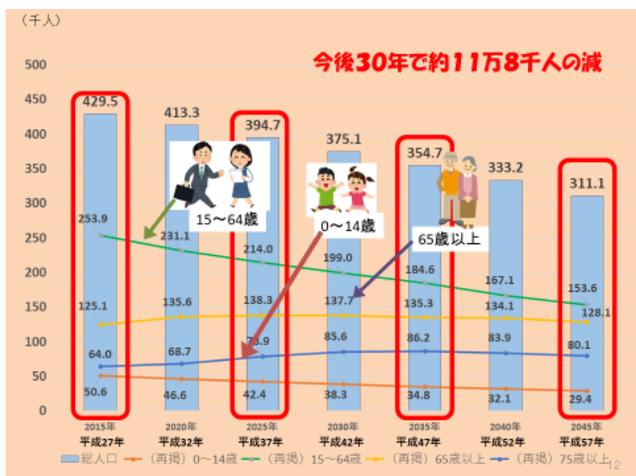
＜施設の築年数と施設の量（床面積）の割合＞



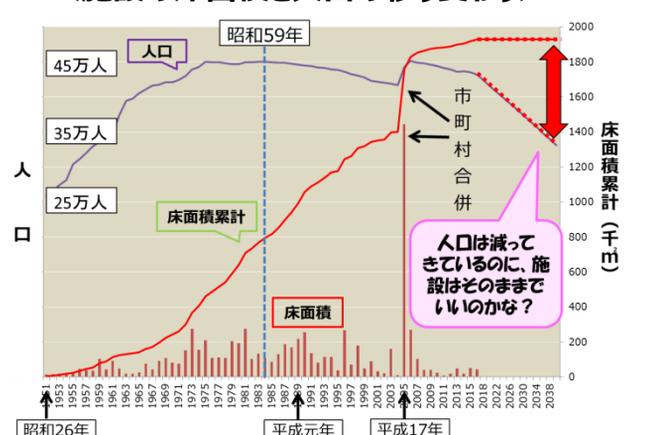
人口は減少しているのに、施設は多いまま

- 長崎市の人口（紫の線）は、昭和59年にピークに減少していますが、**施設の量※床面積（赤の線）は増え続けています。**
- 今ある施設を全て持ち続けることが必要でしょうか？**

＜人口の将来予想＞



＜施設の床面積と人口の移り変わり＞



# はじめに 時代の変化に対応できる公共施設の見直し

長崎市から、「いま起きている“変化”と状況」に伴い、なぜ公共施設のあり方を見直す必要があるのかお話ししました。

## 公共施設を取り巻く時代の変化

長崎市の人口は、30年後には11.8万人(27%)も減少すると予想されているんだ。

人口減少

公共施設の  
利用者の減少

なのに

公共施設の量は  
増え続ける

公共施設はこのままでいいのでしょうか？

少子高齢化

医療・介護など福祉  
にあてる予算の増大

なのに

古くなった公共施設の  
修理に費用がかかる

64歳以下の人口は大きく減っていき、税収(市の収入)が減っていくよ。



人は減っていくのに、施設の量はそのままだと、使われない施設が増えてしまうね。

市の施設の半分以上が、築30年以上で老朽化しているよ。これからますます修理の費用がかかるよ。

長崎市が

『**人口が減っても、暮らしやすいまち**』であり続けるために  
**今、公共施設**の使い方の**見直し**が必要です！

## 高島エリアの将来に向けて

今回の公共施設の見直しが、高島の暮らしの環境を整える「生活環境の整備」や「交流人口の拡大」につながるようなものにしていくことが、大切であると考えています。

安全、安心、  
快適な  
まちづくり



活力のある  
まちづくり

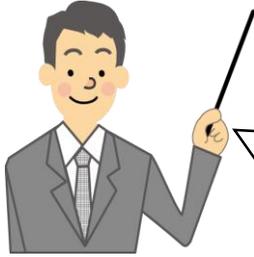
これからの**変化**を見据えて、  
その**変化**に対応できるような**見直し**にしましょう！

# 公共施設のかしこい見直し方

長崎市から、どのように公共施設を見直していくかについて、お話ししました。

まず大切なことは…

**施設を見直すことは、行政サービスを無くすことではありません。**



施設の見直しとは、あくまでも施設のあり方や使い方を見直すということです。仮に施設が減っても、そこで行われていた生活に必要なサービスを無くすことではありません。

<工夫した使い方の例>



建物は減っても… サービスは残る

## 公共施設を見直す時の視点

公共施設の使い方を見直す時には、次の7つの視点で考えていきます。

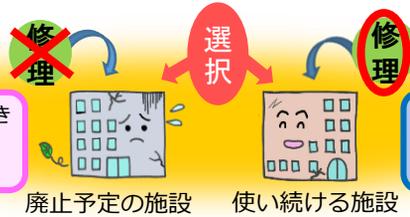
<p>建築年数や修理の状況</p>	<p>地震に強い建物か</p>	<p>使っていない部屋はないか</p>	<p>よく利用されているか</p>	<p>同じような使われかたをしている建物がないか</p>	<p>修理などにお金が掛かりすぎているか</p>	<p>バリアフリーに対応しているか</p>
-------------------	-----------------	---------------------	-------------------	------------------------------	--------------------------	-----------------------

## 見直しの手法

見直しには、大きく3つの手法があります。

**手法1** 使い続ける施設と廃止予定の施設を分けて、使い続ける期間に合わせた適切な修理をする

廃止予定なのに大きな修理をするのは、もったいないね！



廃止予定の施設      使い続ける施設

安全で安心して利用できる施設管理に努めます

**手法2** ゆずりあいと工夫



- いっしょに使う ●
- 時間をやりくり ●
- 片づける ●

工夫することで建物が減っても活動は続けられ新たな交流生まれます。

**手法3** 新たな財源を確保する

- ◇ 使っていない土地や建物を売ったり、貸したりする(遊休資産の活用)
- ◇ 民間と連携・協力し、より良い行政サービスを効率的に提供する

## グループワーク

### 見直した方がいいと思う施設について考えよう

○高島の将来を考えるうえで、見直した方がいいと思う施設は何ですか。

○その理由は何ですか。

思い浮かんだ施設を、書き出してもらい、それぞれの施設について、班で話し合いました。



# 各班協議で出された主な意見

グループワークで話し合っていたいただいた内容について、班ごとに発表していただきました。

- ・子どもを大切にする視点で、見直しをしていく。
- ・津波等の安全上の問題を考えて、幼稚園は小中学校へ移転してはどうか。
- ・教職員住宅は老朽化しているので、市営住宅に住むことはできないか。



1班

- ・交流人口を増やして収入を得ることが大切。そのためサービスの仕組みを変える必要がある。
- ・市営住宅の空きがない。
- ・高砂園は小規模多機能型居宅介護に見直したらどうか。



2班

- ・軍艦島ツアーの下船客が島内を回遊できるように、業者との連携などの工夫してほしい。
- ・いやしの湯をもっと多くの人に利用してもらえるように工夫してほしい。
- ・釣り公園の利用料金が安くなれば、利用が増えるのではないか。



3班

- ・高島地域センターの空きスペースに幼稚園、消防署が入れるようにしたらどうか。また、空き部屋のテナント募集をしてはどうか。
- ・五平太は避難所に指定されているが、耐震性がないので、他に場所はないか。



4班



【講評】（アドバイザー：首都大学東京 都市環境学部 讃岐 亮 先生）

- 公共施設の将来のあり方を考えるときには、実際に住んでいるみなさんが、施設をどのように使っているか、まちの未来をどう考えているのかが大切です。
- 利用者の目線だけではなく、納税者・経営者の目線で考えて、お金をかけるべきことや、効率化できる点、使い方を改めるべきか、などについて考えることが大切です。身近な目線に立って、サービスが持続可能かどうかを考えながら、次回の対話に臨んでいただきたいと思います。

## 次回の対話では・・・

長崎市の公共施設の **基本的な配置の考え方** をお示したうえで、第1回で話題になった施設を中心に、市で検討した **高島の施設の見直し案** をお示したいと考えています。

それに対する皆様のご意見をお聞かせください。

次回の対話

第2回 日時：平成30年6月24日（日） 15：30～17：30  
場所：高島地域センター3階会議室

◆お問い合わせ：長崎市理財部資産経営室（☎直通：095-829-1412）